

八学大・短大地域連携研究センター



「地域連携研究センター」の一部機能移転を発表した大谷真樹センター長(右)と「アート&コミュニティ」の類家敦代表=2日、八戸市十三日町

一部機能を中心街に移転 産学連携、交流促進へ

【八戸学院大・八戸学院 短期大地域連携研究センター(センター長・大谷真樹八戸学院大学長)は2日、八戸市十三日町の八戸ニューポート内にセンターの一部機能を移転した、と発表した。企業や行政との

連携を強化し、学生が中心街で活動する拠点とするこ
とで、これまで以上に大学
と地域との交流を促す考
え。

センターはこれまで大学
内にあり、地域に関する研
究、大学講師陣による市民
向けの公開講座や教養講
座、起業家育成を目指す講
座などを展開してきた。

移転先では、教養講座な
どを開くほか、学生が企業
と交流したり、連携して事
業を実施したりする場とし
ても活用できる。大学職員
も常駐する。

同日、センターと、ニュー
ポートを運営する「アート
&コミュニティ」(同市、
類家敦代表)はニューポー
トで記者会見を開いた。
大谷センター長は「将来
的には、インターンシップ

やスポーツを通じたビジネ
スなど、産学連携で実践的
に学べる場にしていきたく
い」と語った。類家代表は
「センターと連携し、学生
が集まりやすい雰囲気をつ
くり、中心街のにぎわいに
もつなげれば」と期待を寄
せた。

主な開設時間は、平日の
午前9時〜午後5時半。
(田中周菜)